

■(吉田)角倉了以 貿易豪商，土木事業家。江戸幕府創設期に安南貿易を営み巨富の一方，河川開発で大きな貢献。

すみのくらりょうい
・ ・ ・ ・ ・ 1554＝

吉田宗桂の子に生まれる。
吉田家は，源氏の一斉蜂起に呼応した佐々木高綱の弟が，与えられた近江国愛知郡吉田郷にちなんで吉田姓を名乗ったことに始まり，祖父宗忠が洛西嵯峨で土倉営業に成功して，豪商〔角倉〕となった。父宗桂は医術を家業とする分家を継ぎ，策彦周良に従って，2度も明に渡って修業して，名声を高めるとともに，明から持ち帰った様々な文物がその後の財力のもとにもなった。
弟宗恂が誕生。

・ ・ ・ ・ ・ 1558＝ 4歳
桶狭間の戦い・1560＝ 6歳：

大村純忠受洗1563＝ 9歳：

織田信長入京1568＝14歳：

石山合戦始・1570＝16歳：吉田宗家を継いだ従兄栄可の子を妻に迎える。

三方原の戦い・1572＝18歳：
室町幕府滅亡1573＝19歳：この年織田信長が天皇に上覧した茶道具の目録に名前が記載され，すでに名物所持者として知られる。

性格は豪放不羈で海外雄飛を志し，また土木建設にも興味をもっていて，

バリエーノ謁見 1581＝27歳：
本能寺の変・1582＝28歳：

豊臣秀吉関白1585＝31歳：この年，豊臣秀次が戦功によって近江八幡を与えられ，以後，商都として発展する基礎を築いて行く。

この間，医家である父を継いだ弟宗恂が秀次の侍医となったことから，交流が始まる。

秀吉全国統一1590＝36歳：

文禄の役・1592＝38歳：豊臣秀吉から朱印状を得て安南国に角倉船を派遣したとも伝えられ，

関白秀次事件1595＝41歳：この年，豊臣秀吉から謀反の疑いをかけられた秀次一族が鴨川の三条河原で悲惨な最期，

この間，弟宗恂が徳川家康の侍医に招かれ，

前田利家没・1599＝45歳：
関ヶ原の戦い・1600＝46歳：この頃，徳川家康と会う。

以後，徳川政権との折衝を息子素庵に委ね，
阿国歌舞伎始1603＝49歳：家康からも朱印状を得て，安南貿易に従事。

江戸城完成・1606＝52歳：そこから得た資金などを投じて，
家康駿府退隠1607＝53歳：*丹波と京都間の通船のため，大堰川(保津川)の開削工事を短期間で成功させ，舟を提供して運上収入，幕命を受け，家康の隠居地駿府にとって重要な日本三大急流の富士川の通船工事に着手，
・ ・ ・ ・ ・ 1608＝54歳：続いて，家康から天竜川の通船工事を命じられるが，さすがの激流に断念，
島津琉球支配1609＝55歳：安南を出航した角倉船が暴風で遭難，一族の船長含め13人が溺死。114名は救助され手厚い保護を受ける。
琉球使始・1610＝56歳：京都で，禁裏や方広寺大仏殿などの造営の巨木の運搬のため，鴨川を開削するが，暴れ川にままならず，
山田長政渡航1611＝57歳：朱印状の受取り名義人を長子素庵として安南貿易から手を引く。
キリシタン禁止・1612＝58歳：富士川の通船工事が竣工した年，平行する運河的な支流高瀬川の開削に着手，用地の買収や年貢の保障などに辛苦する一方，悲劇の秀次一族の遺骨を発掘し，丁重に供養して瑞泉寺を建立するなどしながら，
大坂冬の陣・1614＝60歳：*京都経済の大動脈となった高瀬川の舟運完成直前に，没した。